

【取組 7】利用者目線に立った持続可能な地域公共交通 (プラン記載箇所：52、53ページ)

＜目指す姿＞

- ◆ JR七尾線、のと鉄道、特急バスなど能登と金沢を結ぶ広域基幹交通の再構築について検討を行い、令和6年度に石川県能登地域公共交通計画（第一次計画）を策定。
- ◆ 災害公営住宅など恒久的な住まいの再建に合わせて、「輸送支援の総動員による地域公共交通（一般バス路線やコミュニティバス等）の再構築」について、**オンデマンド交通、公共ライドシェアや自動運転などの新たな仕組みや技術の活用も含めて検討**を行い、令和7年度に第二次計画として取りまとめ。

プラン掲載の取組 (別冊の掲載ページ)	内容	短期（～R7末）		中期（～R10末）			長期（～R14末）				
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
① 能登地域の地域公共交通計画の策定 【企画振興部】（81ページ）	地震の影響により従来の公共交通網の姿が大きく変化している中で、持続可能な地域公共交通の維持・確保に向けて、従来の輸送資源を最大限に活用するとともに、自家用有償旅客運送やAIオンデマンド型交通、自動運転などといった、新たな仕組みや技術の活用も含めた検討を行うなど、利用者のニーズを汲み取りながら、能登地域の市町及び関係者と連携し、協議を行います。	第一次計画策定 (能登＝金沢を結ぶ幹線路線の在り方等)	第二次計画策定 (復興状況にあわせ、能登地域内移動の在り方等)	地域公共交通計画に基づく、着実な事業実施							

現在の状況	今後の進め方
① 利用者目線に立った持続可能な地域公共交通の実現に向け、4市5町、交通事業者、利用者等による能登地域公共交通協議会をR6.7月に設立。 ・R6.8.27 令和6年度第1回協議会開催 ・R6.12.24 同第2回協議会開催 ・R7.3.25 同第3回協議会開催 → 第一次地域公共交通計画をR7.3月に策定 ・R7.5.23 奥能登2市2町共通のAIオンデマンド交通導入プロジェクトが、国モデル事業に採択 ・R7.8.27 令和7年度第1回協議会開催 ・R7.12.25 令和7年度第2回協議会開催 二次計画（素案）を提示	・今後、地域内交通を含めた地域公共交通の再構築（第二次計画）に向けて、パブコメを実施し、令和7年度末に策定予定 ・国のモデル事業を活用して、令和8年秋頃を目途に実証運行を開始できるよう奥能登2市2町のAIオンデマンド交通のための共通システムの導入を進めるとともに、広域運営体制づくりを検討

関連する指標（R7.12末時点）	発災直後	R6.12末時点	現 状	目 標
現時点で関連指標なし				